

那珂川市図書館

オススの1冊

『十二番目の天使』

オグ・マンディーノ／著 求竜堂 一般書【933.7 マン】

幸せの絶頂のさなか、もしも絶望のどん底に落とされたら、みなさんはどんな行動を取るでしょうか。

主人公のジョンは、若くして大会社の社長として故郷に帰ってきます。成功者に思われた彼ですが、間もなく愛する妻子を交通事故で亡くしてしまいます。生きる希望を失ったジョンですが、親友のビルの頼みで、リトルリーグの監督を務めることになります。

リトルリーグの始まりは、チームエンジェルスに所属する子どもたちを選ぶこと。そのとき、12番目に選ばれたのは、ティモシーという小さい男の子でした。熱心だけれども、不器用で、試合ではなかなか成果が出ません。しかし、彼は「絶対、絶対、絶対、絶対、絶対、絶対、あきらめるな！」という言葉で、自分を励まし、一生懸命に試合や応援に取り組みます。ティモシーに亡くなった息子の姿を重ねていたジョンは、その前向きな姿に励まされ、次第に立ち直っていきます。

いつしか「絶対、あきらめるな！」がチームの合言葉になり、リトルリーグの優勝決定戦へ進出するまで成長していきます。

このティモシーですが、実は大きな秘密があります。自分では困難な状況と理解しながら、絶対に諦めず、自分の望みを叶えようとする姿は力強く、読者でさえも励まされます。

誰かに背中を押してほしい時、元気が出ない時に読みたくなる1冊です。

那珂川市図書館司書 (516)